

静岡平和資料館をつくる会 会報



左
上
は
旧
遺
骨
堂
右
が
現
在
の
遺
骨
堂



—消えゆく戦跡—

「朝鮮人遺骨安置堂・慰霊碑」(静岡市清水区北矢部)

日本の植民地化で朝鮮から強制連行などで日本に連れてこられた人々が静岡県とりわけ清水にも大勢いた。戦時中は軍需産業で酷使され戦中・戦後身寄りもなく亡くなり無縁仏とされていた94人(氏名判明27人、不明67人)が、清水北矢部に長らく葬られていた。

1956年に旧清水市北矢部に遺骨の安置堂がつくられ、1965年には新たな納骨堂を建て碑文が建立された。2010年に94体の遺骨は韓国忠清南道天安市「望郷の丘」に移された。2018年納骨堂が取り壊されたのは残念だが、残された慰霊碑を保存し伝えていくことが大切だ。

小池都知事は就任以来関東大震災で虐殺された朝鮮人犠牲者への追悼文の送付をとりやめた。また、最近群馬県などで戦時中強制労働を強いられ犠牲になった朝鮮人労働者追悼碑が強制撤去されたことが報じられている。朝鮮人強制連行など過去の負の遺産を認めようとせず、歴史に蓋をしようとする動きが益々増えてきている。

過去の過ちを葬り去ろうとすることは、未来において同じ過ちを繰り返しかねない。戦跡を残し、史実を学び後世に伝えていくことは極めて重要な作業ではないだろうか。(五井卓)

(目次)

2024年度 総会報告	2～
新運営委員の挨拶	3～
総会イベント 「第五福竜丸—センター展示と 高校文化祭での体験—」	4～
企画コーナー展示イベント報告 「消えゆく戦跡」	5～
「憲法は、今！」 展示部学習会を終えて	6～
各地の資料館を訪ねる 「静岡平和資料センター」	7～
平和当番日誌 (マンガ)	8
私のおすすめこの1冊 「歌われなかった海賊へ」	9
焦土での暮らし (再掲)	9～
所蔵資料展示「静岡の戦争と空襲12」 によるこそ	11～
寄付金・カンパお礼	12
訃報	12

●静岡平和資料センター●

開館日 金・土・日 11:00～16:00

開館情報はホームページをご覧ください。または来館時にお電話でご確認ください。

ホームページ <http://www.shizuoka-heiwa.jp>

静岡平和資料センター ⇒ 検索

右のQRコード読み込みでもホームページが開きます



状：小林憲治さん画」にも「防空係長 小林憲治」の文字を見ることができます。

■空襲コーナーは体験画をすべて入れ替えました。中央のガラスケースに新たに変わったのは折りたたみ式の灯火管制用傘です。蛇腹式のものに合わせてご覧ください。傘の側面には、明るさの規定とともに、違反は処罰の対象になると書かれています。



灯火管制用電球傘

■戦後のコーナーでは抑留関連の資料として「鴨川源吉さんに贈られた表彰状と銀盃一ツ連抑留者の補償要求運動推進に貢献」を展示。展示ケースの上には小和田光さんによるシベリア体験画「ジムリャンカー半地下宿舎」が並びます。

なお、今回の特集は調査研究部による「静岡県内の空襲の記録」です。爆撃の種類を解説したパネルと該当する米軍の銃弾や爆弾の破片を展示。空襲カレンダーや被災地図など、空襲の全容に迫るものになっています。

以上、リニューアルの一部を紹介しました。

センターに大切な資料をご寄贈いただいた方々に、改めてお礼を申し上げます。

(所蔵資料展示担当 佐々木悦子)

*** どうぞ、ご参加ください *** チラシあります ***

- ◆「2024 年夏休み平和教室」(8 月 2 金.3 土.4 日.9 金.10 土.11 日)どなたでも参加できます。
- ◆ 第 54 回空襲戦災を記録する全国大会 静岡市で初開催！当会からの報告もあります。
- ◆ 今年も 8 月 15 日(木・終戦記念日)はセンターを開館します



会報 明日へ・・・ No132

発行日 2024 年 6 月 22 日

編集・発行

静岡平和資料館をつくる会

〒420-0858

静岡市葵区伝馬町 10-25

中央ビル'90 2F

Tel/Fax 054-271-9004